



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

後期高齢者
医療制度

短期保険証の発行実態を調査

―県内の全市町村の実態把握へ―

日本共産党
議員団

日本共産党市議団は、後期高齢者医療制度における短期保険証の発行について市の担当課から聞き取りをしました。茨城県党として、県内の全自治体での実態把握に取り組んでおり、その一環です。

の対象者数が6461人(昨年12月)で、うち18人が3ヶ月の短期保険証となっています。担当課によれば「滞納者に対して1ヶ月の短期保険証を発行しているところもある」とのことです。滞納となっているのは、

同制度は県内の全市町村が加入する「茨城県後期高齢者医療広域連合」(県広域連合)が運営していますが、短期保険証の発行に関しては各市町村の裁量となっています。本市では、同制度

収入が月額1万5千円以下の普通徴収(年金天引きでなく窓口納付)の低所得者の人たちです。「4月からは短期保険者数が若干増えるかもしれない」と担当課は懸念しています。



雪あそび
花園モールの前庭で。(2月6日)



除雪作業
関本中学校の校門前。近くに住むTさん、長年のボランティア。(2月12日)

厚労省は来年度の保険料が全国平均で13・8%の値上げになると発表しています。茨城県では、本紙でもお伝えしてきたとおり、広域連合事務局から基金を取り崩し値上げを抑えるという予算案が示されています。正式な保険料額を決定するのは、2月17日に開催される広域連合議会です。これ

に向けて党市議団は、本市選出の広域連合議員である村田仁人市議に「後期高齢者医療保険料の値上げ中止を求める要請」をおこない、懇談しました。

党市議団は「低所得者は、保険料の納付そのものが不可能であり、保険証は全員に交付すべきである。また、保険料の値上げを抑えることはもとより、値下げをはかるために運動を盛り上げ、何よりもこの制度自体を一日も早く廃止するため全力をつくす」としています。

いま、市内の「環境」は

市環境審議会での報告から

2月9日、市環境審議会が開かれました。市内の 대기・土壌・水質などについて、公害防止条例にもとづき、市長の諮問機関として審議するものです。

次いで大気汚染の43件(38%)でした。これを区域別にみると、空き地や道路への不法投棄30件、家庭での野焼き21件などです。

豊田市長が「安全・安心なまちづくりをめざしている。環境は子どもたちからの借り物。心してとりくんでいきたい」とあいさつ。事務局から08年度の事業報告がありました。

所が公害防止協定を結んでいます。条例にもとづいて定期的検査や県の立ち入り調査が実施され、必要に応じて、啓発・指導がおこなわれています。

それによると、環境全般に関しての市民からの苦情は、不法投棄が47件(42%)、

大気汚染については、県内40ヶ所で測定され、市内では中郷第一小学校に設置された自動測定器が24時間稼働しています。さらに市として独自に年2回、4ヶ所で測定をおこなっています。ほぼ基準値内ですが、



救命救急講習

2月7日、中郷多目的集会所において消防分団員を対象とした救命救急講習がおこなわれました。女性消防分団員として参加した鈴木やす子市議は「講習は随時開かれます。一般の市民の方も、家族の命をまもるためにも、ぜひ機会をつくって参加してみてください」と呼びかけています。

稼働しています。さらに市として独自に年2回、4ヶ所で測定をおこなっています。ほぼ基準値内ですが、光化学スモッグ発生の原因物質であるオキシダントは、この3年基準値を下回らず、全国1148ヶ所のうち、基準値以下は1ヶ所だけしかありません。国として抜本的な対策が必要な課題です。

水質関係では、95年前後に全国でワーストクラスとなった関山川の汚染が、かなり改善されているもの。まだ若干高く、浄化槽設置など取り組むとしています。また地球温暖化の防止が国際的な課題となっており、市行政内での取組みは報告されますが、私企業の取組みについても啓発・発信を促進しよう、また家庭内でもできることも、さらに多くの機会を設け、情報交換の場を活発にしていこうとの意見が出されました。さらに市内の産廃処理場については、基準値内の操業であり、問題は発生していませんが、地元への報告、説明などの機会をもつよう要望をしました。